

英語で診療 Medical English #20

介護保険をよくする西宮市民の会

甲状腺疾患の診療を英語で再現

西宮・芦屋支部は12月12日、西宮医療会館で、「甲状腺疾患」をテーマに「英語で診療 Medical English #20」を開催、ロバート・コンロイ先生(Con Language School)が講師を、坂尾福光先生(ピューハイツクリニック)が司会を務め、14人が参加した。アドバイザーを務めた西山哲彦先生(西山医院)の感想文を掲載する。

英語で診療に参加して

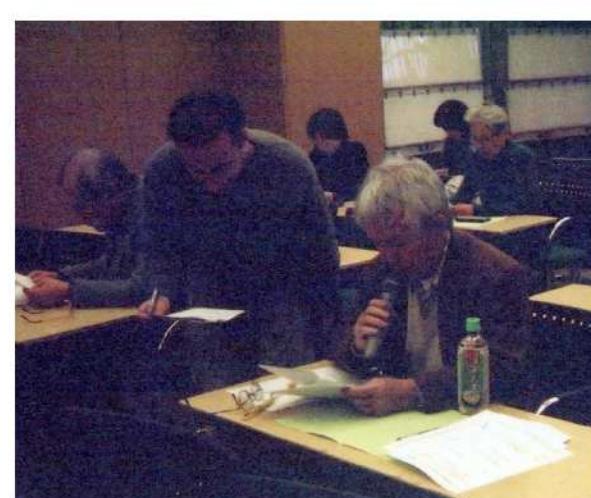
12月12日に西宮医療会館で行われた「英語で診療 Medical English #20・甲状腺疾患」に参加した。師走の忙しい中にもかかわらず15人程が出席されていた。師走とは聞かれコンロイ先生は「Teacher is busy?」と自信なげに仰った。師走とは坊さんが忙しく走り回る様からきている説が一番らしいがコンロイ先生に分かる訳もない。



コンロイ先生(左)と坂尾先生(右)

半年ほど前に甲状腺に関してスキットを準備してくれとの依頼があった。英語音痴の私は無理と言ったのですが日本語で結構構のこと引き受けた。2年ほど前に当協会主催の研究会で神戸で甲状腺疾患をテーマに話した内容を下地に実際の診察室の一風景として作つてみた。それで、天気の話や着ているシャツを誉めたり、みのもんたのテレビを見て来たのかなどの会話と私が実際に毎日している診療を手順通りに再現させてスキットの原稿を作成した。つい欲張りすぎて、いささか長くなりすぎて申し訳なかった。坂尾先生のご苦労で上手に英語に翻訳された。当日は恐る恐る出席したが、案の定、参加者が少ないため、发声機会が3回も回ってきて、冷や汗をかきながら済ます。出ている人は皆さん自信があるから出でおられるので、非常に流暢である。

英会話が主なのか、医学知識が大事なのか、二兎を追うと一兎も得ずとなりかねないので難しいと痛感した。



講師のマンツーマンの指導で発音を磨く

大森公一支部長が代表を務めるNPO法人「介護保険をよくする西宮市民の会」は12月2日、佐久総合病院の色平哲朗先生を講師に、講演会「予防は治療に勝る——どうなる? 介護・医療」を開催、市民・介護職員ら100人が参加した。

色平先生は講演で、人口1200人弱の南相木村国保診療所での地域住民との全人的な付き合いや医学生受け入れなどの経験をユーモアを交えて語り、医療・介護の将来は市民と医療関係者が一緒に考えていかなければならぬと訴えた。

介護・医療の将来を テーマに講演会を開催



ユーモアを交えて講演する色平先生

開会あいさつをする大森支部長

世話人会だより

西宮・芦屋支部は11月28日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催しました。出席は8人。

【報告】

①但馬支部との交流企画 (11・9)

【協議事項】

- ①医療過誤・訴訟セミナー (12・6)
- ②Medical English #20 (12・12)
- ③第3回胸部X-P読影会 (1・30)
- ④レセプト電子送信の検討会 (1・31)
- ⑤健康と医療について語り合う会
- ⑥第20回在宅医療研究会 (2・7)
- ⑦第21回漢方研究会 (3・14)
- ⑧第29回支部総会 (7・4)
- ⑨阪神淡路大震災15周年企画 (1・31)

第20回在宅医療研究会

日 時 2009年2月7日(土)

午後3時~5時半

会 場 西宮神社会館 福・寿の間

テー マ 在宅ターミナルケア

①終末期ケアを見据えた病診連携

徳山 磨貴さん

(県立西宮病院・MSW)

②終末期ケアを見据えた地域連携

福田 清美さん

(関本クリニック・看護師)

③在宅緩和ケアの実践と地域連携

白山 宏人先生

(大阪北ホームケアクリニック)

司 会 土山 雅人先生

(つちやま内科クリニック)

お問い合わせは担当事務局

岡林、伊藤、横山まで

Tel : 078-393-1801 Fax : 078-393-1802

西山 哲彦(西山医院)